

【資料2】各団体のメディアに関する取組

●松江市医師会（田草会長）

① 今年度のメディアに関する取組について

1) THInet（ネット健康問題啓発者養成全国連絡協議会）共同代表として活動。

- ・乳幼児支援者研修会の実行委員長として企画・講演等
- ・公式インストラクター認定講習会の司会・講演
- ・研修会用スライドの監修

2) 島根県教育庁主催の令和6年度子どもの健康づくり事業「専門家・専門医による指導事業（メディア）」に協力

- ・安来市内の養護学校高等部での講演
- ・フォトしまねの取材協力

3) 安来市、出雲市で小学生や教諭、保護者向けの講演

4) 日本小児科医会のポスターの広報（別紙）

https://www.jpa-web.org/dcems_media/other/digital_kosodate2024.pdf

（保護者の方へ デジタル社会の子育て「幼児期に大切なこと」！NEW！）

② 今年度の課題と来年度に向けて

1) 松江市医師会としての活動はなく、関心のある小児科医など呼びかけが足りない。志のある仲間を増やしていく。

●しまね“あそぼっ！”の会（坂本副会長）

① 今年度のメディアに関する取組について

・毎月1回実施している乳幼児の外あそび「おそとであそぼっ！」（出雲かんべの里）
0～2歳親子対象に、子育て支援情報として伝えている。

・参加親子に「おそとであそぼっ！」パンフ配布
メディア・外あそびの情報提供

・2024年度“おそとであそぼっ！”開催日程表 配布（松江市子育て支援センター）
0歳～2歳のお子さんにとって、自然からの刺激が脳や体の発達に大きく関わってきます。

・スタッフのいる遊び場に参加してみませんか？

② 今年度の課題と来年度に向けて

・毎回参加申し込みはあるが、継続参加につながりにくい。

・子育て支援センターだけでなく、“おそとであそぼっ！”開催日程表配布先の開拓を進めたい。

・“おそとであそぼっ！”出前開催（公民館・子育て当事者へ）

・乳幼児健診等で、“おそとであそぼっ！”の紹介

●島根大学人間学部こころとそだちの相談センター（高橋委員）

①今年度のメディアに関する取組について

引き続きホームページに「ご相談内容（こんな時にご相談ください）」として「メディアとの関わり方について（ゲームやネットサーフィンをやめられない、SNSによるトラブルなど）」と記載して、相談活動を行ってきた。

②今年度の課題と来年度に向けて

上記の主訴の来談ケースは必ずしも多くはないので、引き続き広報を行っていく。

●鳥取大学医学部環境予防医学分野（健康政策医学分野）（桑原委員）

①今年度のメディアに関する取組について

- ・松江市東出雲中学校での保健教室（4～7月、医学部医学科の社会医学実習、桑原）
- ・松江市揖屋小学校での保健教室（4～7月、健康政策医学分野増本先生）
- ・東出雲中学校全校保健集会での講話（10月、桑原）
- ・鳥取市保健所わくわく元気教室事業（メディア）についての意見交換（金、桑原）
- ・日本公衆衛生学会等での活動報告
- ・R6年度「メディアに関するアンケート」の集計、分析（桑原）

②今年度の課題と来年度に向けて

- ・中学校での啓発については、ピアエデュケーションの手法が望ましい。今年度は全校集会に医学生が参加できず、教員からの話だけになってしまい効果に不安が残る。
- ・医学部との連携事業では、健康に焦点を当てている。メディアの社会的問題についての学習をする機会を補填する必要性はあると考える。
- ・全体へのアプローチは重要だが、メディアに関連することで既に困っている児童生徒や保護者の方が肩身の狭い思いをしていないか。こうした対象者を排除しない工夫や相談できる窓口についての情報提供が出来る啓発のあり方を考える必要がある。
- ・当事者（ネット依存、ゲーム依存経験者）の語りを活かした啓発の可能性を模索中

●島根大学医学部看護学科 地域・老年看護学講座（榎原委員）

①今年度のメディアに関する取組について

1)母親の問題のあるインターネット使用と子どもの発育・発達との関連についての研究

平成28年4月～平成29年9月の間に、島根県松江市で妊娠届出をした妊婦のインターネット使用に関する調査と、出生届出時の出生情報を使用して解析を行った。その結果、妊娠中にインターネットを仕事以外で5時間以上使用している場合、そうでない妊婦と比較して、2.16倍 低出生体重児を出生する可能性が示唆された。この結果は、Environmental Health and Preventive Medicineに掲載された。

また、上記の期間中、島根県松江市で妊娠届出をした母子の乳幼児健診データと5歳児健診の1次スクリーニングアンケート（Strength and Difficulties Questionnaire: SDQ）を使用して、母親の問題のあるインターネット使用と5歳児の行動・情緒の課題との関連を解析している。

2)子どものゲーム障害・長時間インターネット使用の要因と影響に関する探索的研究
令和6年に実施された松江市「子どもの電子メディア機器利用に関するアンケート」のデータを用いて、子どものゲーム障害・長時間インターネット使用の要因と影響について解析している。

②今年度の課題と来年度に向けて

1)について

「母親の問題のあるインターネット使用と子どもの発育・発達」に関する研究結果について、松江市の保健師さんに報告する機会を設けたい。また、松江市の保健師さんと一緒に、メディアの使い方に関する保護者向けのリーフレットを検討したい。

2)について

「子どもの電子メディア機器利用に関するアンケート」の結果に基づいて、松江市「子どもとメディア」に関する協議会の皆様と対策を検討すると共に、更なる現状把握のために必要な調査について検討したい。

●松江市PTA連合会（福島委員）

今年度はメディアに関する取組はありません。

●松江市保育研究会（三原委員）

①今年度のメディアに関する取組について

- ・「島根の子どもとメディア研究会」による講演会・研修会を受講している所（園）がある。
- ・松江市メディア教育研究会へ参加して園内で共有している所（園）がある。

②今年度の課題と来年度に向けて

- ・子ども達（幼児期）は、今後メディアと関わらずに生活することは避けられない状況にあるので、保護者とともにメディアとの良好な関係となるための講演会・研修会を受講したい。

●松江市幼稚園・子ども園長会（松本委員）

①今年度のメディアに関する取組について

○松江市幼稚園・こども園長会として全園での共通な取組は行っていないが、実態に応じて各園での取組を行っている。

- ・保護者向けメディア研修会
- ・学園・小学校と連携してのメディアコントロールウィークの取組
- ・チャレンジシートの利用による生活リズム、メディアへの関わりの確認
- ・おたよりによる啓発

②今年度の課題と来年度に向けて

- 各園、連携する小学校・学園によって、状況は様々なので、統一した取組はできにくい。来年度も各園での実態に応じた取組を行う。
- 児童のメディアへの関わらせ方や基本的生活習慣の確立、生活リズムの整えについては保護者の関わり方が大きく影響するので、引き続き、保護者研修会やチャレンジシートの取組、おたよりによる啓発を行うことで、保護者の意識を高めていきたい。
- 就学前の児童については、自分の身体を大切にしたり、生活に必要な習慣や態度を身につけたりするために、自分で約束事を決めたり、守ったりすることで、メディアとの関わり方について考える機会としていきたい。

●松江市小学校校長会（片寄委員）

①今年度のメディアに関する取組について

- ・タブレット端末やクラウドを活用した授業実施の広がり
- ・NHK for school や Web 教材を使った情報モラル指導。学園の I C T 教育体系表の「法律・モラル」の計画に従った授業実践
- ・市教委のメディア学習の出前授業を受ける。
- ・校区中学校のテスト期間に合わせてメディアコントロールウィークを設定し実施
- ・長期休業中（夏・冬）に子ども健康チャレンジカード」を配布。各家庭でメディア時間の削減に取り組む。
- ・長期期間中に「親子読書」のチャレンジ期間

②今年度の課題と来年度に向けて

- ・児童の端末更新に合わせ、学校全体でのタブレット端末やクラウドを活用した授業の推進
- ・学園の I C T 教育体系表の見直し
- ・学校評価におけるメディアに関する評価が児童、保護者ともに課題。手立てを講じても向上しないこともあり、例えば新たな取組として保護者研修会等を検討中
- ・保護者と子どもと両者で共に同じ話を聞き、同じ危機管理の意識や対応を共有することが必要
- ・高学年になるほどメディア接触が長時間になりがちであり、また特定のこどものメディア接触が極端に多い実態もある。スマホでのラインのやり取りによるトラブルもある。そのため、情報モラル指導を推進するとともに、講師を招聘して、メディアとの正しい付き合い方について研修を計画する。

●松江市中学校長会（代理　吉野校長）

①今年度のメディアに関する取組

- ・メディア講演会（PTA 主催、生徒向け）
- ・メディアコントロールウィーク（中学校区）
- ・学級、学年ごとのメディア学習の実施（参観日等に実施）

②今年度の課題と来年度に向けて

- ・メディアコントロールウィーク以外でのメディアコントロールができない。
- ・各家庭によってメディアルールが異なっているため、徹底が難しい。
- ・組織がやや形骸化している面があるので、啓発活動等の情報収集を積極的に行う。

●松江人権擁護委員協議会（勝田委員）

①今年度のメディアに関する取組について

- ・島根県人権擁護委員連合会こども人権委員会を中心に作成した壁新聞「機関紙 しまねこどもの人権だより第15号」において、今年度は、「あなたを守りたい ひとりじゃない…誰かに伝え、相談しよう」をテーマに、SNSの正しい利用の仕方について特集し、全ての小・中学校及び特別支援学校へ配布し、活用を呼びかけた。
- ・「こどもとメディア」に特化した取組ではないが、高等学校で実践している「デートDV防止」をテーマとした人権教室において、スマホ等の情報機器の適切な取り扱いについて取り上げている。
- ・「子どもの人権110番」の電話相談活動等を行っている。

②今年度の課題と来年度に向けて

- ・前述の壁新聞については、来年度もSNSとの正しい付き合い方について特集し発行する予定にしている。
- ・今後、小・中学校においてメディア教育を取り入れた人権教室を企画・実施していくたいと考えている。
- ・「子どもの人権110番」等の相談活動をさらに充実させていきたい。

●島根の子どもとメディア研究会（伊藤紀子委員）

①今年度のメディアに関する取組について

- ・「島根県専門家・専門医指導事業」「松江市の子どもの発達とメディア対策事業」からの委託を受け、県下の保育所幼稚園小中学校の、幼児児童生徒並びに保護者、教職員へ「メディア機器の望ましい利用について」啓発活動を行っている。
さらにより良い啓発のため、下記の通り情報収集に努めているところである。

- ・毎月一回の連絡会及び研修会を実施

啓発活動に活用するための資料収集と情報交換

- ・外部講師を招いての研修会の実施

2024年 12月 12日

「おそとであそぼっ！」の会の事務局長 中田 朋子氏

- ・THInet 主催の研修会に参加

2024年 8月 25日

2024年 11月 17日

- ・NPO「子どもとメディア」主催の研修会に参加

2024年 11月 17日

②今年度の課題と来年度に向けて

- ・AI 時代に入りデジタル機器の急激な変化等に対応できるよう、新たな情報を得ながら啓発のための情報収集と対策等について研修を深めていきたい。

●松江市小学校養護部会（橋本委員）

①今年度のメディアに関する取組

- ・メディア学習の実施。
- ・メディア学習を授業公開日に設定し保護者に参観してもらった。
- ・メディアコントロールウィークの実施。
- ・保健指導でメディアに関する内容を実施。（メディア依存・視力・睡眠）
- ・保健だよりでメディアに関する情報提供や呼びかけを行う。
- ・学校保健委員会でテーマにした。（メディア・睡眠・視力など）
- ・講演会の実施
- ・児童保健委員会でメディア接触・睡眠時間についてアンケートを実施し、児童集会で発表した。

②今年度の課題と来年度に向けて

- ・小学生の SNS 等のトラブルの増加。
- ・子どもの視力低下。
- ・睡眠不足（生活習慣の乱れ）
- ・学年が上がるほどメディアルールが守れなくなる。
- ・メディアルールを決めているところもあるが、動画視聴や SNS をして夜寝る時間が遅くなる児童も増加傾向。
- ・保護者を巻き込んだ取り組みをしたいが、講演会をしても参加者が少ない。
- ・メディアコントロールの取組がマンネリ化し、保護者の意見も様々で学校としてどう取り組むか困っている。
- ・ICT 活用は避けて通れないで、並行して健康についても指導していく必要がある。
- ・情報モラルについて保護者も巻き込んだ取り組みが必要であり、単発的にではなく、定期的な啓発が必要だと感じる。

●松江警察署 生活安全課（加藤委員）

①今年度のメディアに関する取組

- ・児童・生徒を対象としたネット安全教室の実施
- ・PTA や健全育成団体等、大人向けの会合における講話の実施
- ・ネット安全教室については、警察で委嘱しているサイバー防犯ボランティアやサイバーセキュリティアドバイザーと共同で実施した。

②今年度の課題と来年度に向けて

- ・来年度も引き続き教室、講話を実施して、犯罪の加害・被害防止を図っていく。

●山陰中央テレビジョン放送株式会社（山田委員）

①今年度のメディアに関する取組について

- ・申し込みいただいた小学校（保護者の方含む）や児童クラブの皆様に対する本社社屋見学会を通年で随時実施しました。
- ・高校生の皆様の“やってみたい”を実現するためのプロジェクト活動を支援する「SHIMANE みらい共創 CHALLENGE」を実施（今年度で3回目）しました。
今年度から新たに大学生版も開始しました。

<https://mirachalle-shimane.com/>

②今年度の課題と来年度に向けて

- ・①については来年度も継続予定です。

※山陰の民放テレビ3局共催でテレビの仕事体験や名物番組にちなんだコーナー等を通じ、テレビの楽しさを伝えるイベント「わくわくテレビランド」を1月18日にくにびきメッセで開催しました。

<https://www.fnn.jp/articles/-/816165>